

## 平成26年度 第30回九州地区連絡協議会開催報告

九州は梅雨まっただ中にもかかわらず、ぽつかりと晴れ間がのぞいた6月28日（土）、福岡県支部にご苦勞をいただき、福岡市博多のど真ん中において、第30回麻布大学同窓会九州地区連絡協議会（九州ブロック総会）が開催されました。

はじめに、長友士郎会長（宮崎県支部長 昭和36年卒）が開会の挨拶の中で、浅利新学長の紹介に続き、評議員会での決定事項である、大学創立者與倉東隆先生の胸像設置の報告や、大学創立125周年記念式典における募金活動への協力についての依頼がありました。また、来賓としてご出席いただきました、小野口同窓会長からは、先に開催されました代議員会の報告が、浅利学長からは就任のご挨拶とともに、今後4年間の任期に対する意気込みなど熱く語っていただきました。

その後、議事に入り、決算、予算、事務局からの提案事項等ありましたが、そこは結束力の強い九州ブロックのこと、熱心にご協議いただきながらも最終的には全会一致で承認いただき、間髪入れず、懇親会へと突入いたしました。

お酒が入ると、さすがに九州男児の集まりはすごい（女性も2名おられましたがおっとすごい！）。福岡県支部からは、総会出席理事に加えて、さらに他の支部会員の方々も参戦。総勢30数名が組んずほぐれつの大宴会となりました。当初、若干緊張気味の浅利学長も、ほんのり顔を赤らめながら、大昔のバンカラ相手に孤軍奮闘の御様子。人情味あふれる昔話に涙あり、笑いありのひとときでした。

時間も忘れて全員がエンジン全開となったところ、次期担当県の熊本県 吉田支部長（昭和37年卒）から事実上のレフリーストップとなる万歳三唱で、和気藹々のうちにお開きとなり、記念撮影の後、皆で再会を約束いたしました。

しかしながら、おとなしく部屋に帰る者など誰一人としていないはずもなく、夜の中洲にくり出したのは言うまでもありませんが、学長を含む一部の元バンカラ組は、福岡県支部さん御用達で自称「高級クラブ」に突撃したことが記憶の奥底に残っております。

宮崎県支部 西元 俊文（昭和55年卒業）

